

令和8年3月10日（火）

# 第1回定例会一般質問

（要旨及び質問順位）

新冠町議会

## 第1回定例会一般質問

- 1 武藤 勝罔 議員  
補聴器購入助成費の拡大について
- 2 中山 千鶴子 議員  
終活支援について
- 3 酒井 益幸 議員  
防災対策について
- 4 野中 一生 議員  
北海道の就業支援制度を町民へ周知することについて
- 5 但野 裕之 議員  
修学旅行費無償化について
- 6 但野 裕之 議員  
J R 廃線跡地活用について

# 第1回定例会一般質問要旨

NO.1

順位	質問議員名	発言要旨	答弁を 求める者
1	武藤 勝圀	補聴器購入助成費の拡大について	町長
<p>年とともに耳が聞こえにくくなる加齢性難聴。高齢者の生活を支える補聴器の購入を助成する市町村が全国的に増えてきています。加齢性難聴は認知症の最大のリスクの一つとも言われています。</p> <p>補聴器購入費助成については、令和5年6月定例会でも質問し、軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成は実現しましたが、今、求められているのは高齢者への購入費助成拡大です。</p> <p>① 新冠町においても高齢者世帯の増加が推計されています。高齢者向けの福祉政策の中では、補聴器購入助成は大きな比重を占める課題になってくると思います。補聴器購入助成を高齢者にも拡大すべきと思いますが見解を伺います。</p> <p>② 難聴は認知症になる可能性が大きいと指摘されています。この点についての認識を伺います。</p>			
2	中山 千鶴子	終活支援について	町長
<p>近年は、都市部において社会から孤立した人の孤立死が増加している。多くの高齢者が誰にも看取られずに亡くなっている。中には、身寄りがあっても無縁仏として、火葬される痛ましいトラブルも起きている。</p> <p>地方においても、家や土地、墓を管理する人がわからないため、荒れたままになっている現状もある。適切に管理されない空き家や墓の撤去費用を自治体が負担するケースも増加している。</p> <p>こうした問題に対応するため、自治体が終活の支援策として、終活関連情報の登録事業を行うようになっている。</p> <p>登録事業は、必要情報を町民に事前に登録してもらい、本人が意思表示出来ない時や、亡くなった時に有効。</p> <p>当町においても、町民の安心につながると思うが、町長の所見を伺う。</p>			
3	酒井 益幸	防災対策について	町長
<p>日本列島を襲う大規模災害のリスクは、日本海溝・千島海溝周辺型地震等に伴う津波被害、近年激甚化・頻発化する豪雨災害など大規模災害への備えが、ますます重要になってきている。</p> <p>昨年12月8日青森県東方沖地震の発生をうけ、北海道太平洋沿岸地域に津波警報が発令された。真冬での夜間における津波避難であり、さまざまな課題等があったに違いないと推察する。</p> <p>国は、原則徒歩避難としているが、要件を整理し条件付きで容認する自治体もある。車両を使用した避難対応について3点伺う。</p> <p>① 個別避難計画を除く、車両避難について体力低下などによる徒歩避難困難者等は、予め車両避難を認め、当事者との意思疎通しておく必要があると思うが、優先的に認める考えは。</p> <p>② 夜間における車両避難について交通安全対策が欠かせない。特に東町避難階段の周辺において徒歩避難と車両避難が交わり妨げが生じ危険である。車両避難ルートを示し、新たに車両避難場所を指定する考えは。</p> <p>③ 新冠市街地浸水の場合、東町避難階段からの避難者について2次避難が求められるが、移動手段の確保、2次避難所運営に支障はないか。</p>			

# 第1回定例会一般質問要旨

NO. 2

順位	質問議員名	発言要旨	答弁を 求める者
4	野中 一生	<p>北海道の就職支援制度を町民へ周知することについて</p> <p>業種や分野を問わず、人手不足は深刻な問題となっていますが、改善につながる手段として、道の就業支援政策を町民へ周知することを提案致します。</p> <p>道では就業支援政策として、「U I J ターン新規就業支援事業」等の制度があるが、当町に於いては町民からの問い合わせ内容に即して個別に対応し、一定の成果が出ているので、もう一步を進め、町民が道の支援策を利用しやすいように、制度内容を簡単明瞭にした文書を広報で配布する、当町のホームページ上で解説をする、或いは道のホームページへのリンクバナーを設けるといった周知活動をしてはどうか。</p>	町 長
5	但野 裕之	<p>修学旅行費無償化について</p> <p>近年、円安やインバウンドの急増に加えて、燃料費や人件費の上昇に伴う物価高が旅行代金を押し上げており、保護者負担額が膨らむ状況が見られる。</p> <p>子育て世代は、さまざまな面で経済的負担が大きく、修学旅行費が上がれば参加を断念せざるを得ない家庭が出てくる懸念があることから、小中学校の修学旅行等の宿泊行事費用の完全無償化を実施している自治体もある。</p> <p>お土産代などの個人的な支出を除き、移動費・宿泊費・見学料など行程に係る費用を基本的にすべて公費で賄うことにより、保護者に経済的にも精神的にも安心して修学旅行に送り出せる状況が見られる。また、予算のゆとりで、教育旅行の質の維持・向上で大きな効果が見られる。</p> <p>財源は、財政改革の中ではあるが、文科省の来年度予算案に「給食費負担軽減交付金」が計上されている。4月から、国が学校給食費一人あたり5, 200円の2分の1を、道が残りの2分の1を支援する。当町は給食費無償を行っているので、その分を修学旅行費にあてることが可能なのでは。</p> <p>子育て施策として、修学旅行費無償化は定住・移住にもつながると考える。</p>	町 長
6	但野 裕之	<p>J R 廃線跡地活用について</p> <p>人口減少による利用者の低迷や、赤字・災害による施設破損などにより、全国的に廃線が相次いでいる。駅舎が取り壊され、線路のレールも外され更地となった廃線跡も多い。しかし、あえて鉄道施設を残し、観光客の誘致や地域振興に活用した事例も見られる。</p> <p>日高管内の状況はというと、浦河町は旧駅舎周辺を多目的広場として活用する方針。新ひだか町は、旧駅舎を観光協会が管理し、観光施設として活用。様似町は、旧駅舎をイベント会場として、ライブコンサートや催事などを行っている。当町は、ソフトウェア開発会社がドローン操縦の練習場として利用している。</p> <p>以前、前町長に森林公園と一体化させた中で、判官館トンネルと新冠川鉄橋を鉄道遺構として残し、活用することを提案したが、施設の維持管理に莫大な費用がかかると否定された。</p> <p>旧日高線が宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」の海線のモデルとの学説もあることから、旧駅舎を海線の駅として、また、鉄道遺構としてトンネル・鉄橋の維持を計り、観光資源として活用すべきでは。</p> <p>日高道新冠インターチェンジも開通し、観光客・交流人口の拡大が見込まれる。</p> <p>J R 廃線跡地の活用の考えを伺う。</p>	町 長